

「ブレスト+KJ法」もう一つの用途

プロジェクト演習
担当教員

1: 基本の考え方

「考えをまとめる」ということ

「文章化する」ということ

それは…

「複数の自分」とのチームディスカッション

2: ブレスト+KJ法もう一つの用途

(1) 複数の人間で考える技法・・・としては体験済



(2) 個人の「思考の整理」と、整理した結果を「文章化する」技法としても活用しよう！

2: ブレスト+KJ法もう一つの用途

みんな作文で苦労する

作文のスタート時には、「あれも書きたい」「これも書かねば」という思いが錯綜して、なかなか文章にまとまっていけない・・・のは、誰でも経験があるだろう

2: ブレスト+KJ法もう一つの用途

どうしてそうなるのか？

「あれも書きたい自分」や「これを書きたい自分」という「複数の自分」が、それぞれ勝手なアイデアを持っており、「**チーム・自分**」としての統一見解、統一プランにまとめることができないからなのだ！

2: ブレスト+KJもう一つの用途

複数の自分＝複数の人間のアイデアを
一つにまとめていく方法は・・・

ブレスト+KJ法だ！

(1)まずは、書きたいことを書き出そう

書きたいことを、思いつくままにカードに書き出そう
→ブレスト相当の作業。だから…

質より量 : カードは一枚でも多く

自由奔放 : 自分一人の作業。周りを気にするな

尻馬推奨 : 思いつきに思いつきを重ねて

批判厳禁 : この段階では全てを肯定して

(2)カードをグループピングしよう

関連性のあるカードを重ねて

「何らかの意味のある(ありそうな)カタマリ」
を作ろう

KJ法スタート！

(3) グループに「見出し」をつけよう

カタマリの持つ意味を考えて
短い言葉で表そう＝見出しをつけよう



つけた見出しをカードに書いて
「見出しカード」を作ろう

(4)文章の流れ＝プロットを固めよう

見出しカードだけを使って

(背後にあるブレストカードのカタマリはおいといて)

どうしたら論理的なストーリーになるか

実際に並べ変えながら考えよう



並べ方が
決まったら

それが今書こうとしている文章の流れ＝プロット

(5)文章のパーツ＝段落を作ろう

見出しカードごとに、背景にあるブレストカードのカタマリを睨んで、文章化しよう



その結果

見出しカードの数＝ブレストカードのカタマリの数だけ
文章のパーツができ上がる

(6)プロットに沿って組み上げよう

(5)で作ったパーツを
(4)で作ったプロットに沿って並べ
必要に応じて「つなぎの言葉」を加えていけば
ブレスト+KJによる

「試行の整理」と「文章化」が完成！